

R RIVIERA

リビエラライフのためのマガジン

NO.
18
SPRING 2022

FEATURES

4 RIVIERA INTERVIEW VOL.17

フィンランド共和国
駐日特命全権大使

ペッカ・オルパナ閣下

TOPICS

10 The Genesis Invitational
February 17-20,2022

REGULARS

2 感動と共感に満ちた春。
そして新たな挑戦も。

株式会社リビエラ
渡邊 昇

14 RIVIERA Sustainability Project
LOVE OCEAN～リビエラ湘南ビーチクリーン～
第4回リビエラSDGsフェス in リビエラ逗子マリーナ

17 RIVIERA Staff's Voice
マリンライフを楽しむすべての人へ
磨き続けるスキルと人間力

18 Pick Up



表紙:
朝もやに包まれるリビエラカントリークラブ

発行
株式会社リビエラ
編集・制作
リビエラマガジン編集部

〒107-0062
東京都港区南青山3-3-3
リビエラ南青山ビル
TEL. 03-5474-8120
www.riviera.co.jp

広告のお問合せ先
リビエラマガジン編集部
TEL. 03-5474-8120

CHIEF EDITOR
渡邊 華子

EDITOR
内村 朱希
石井 小百合

PHOTOGRAPHER
宮本 卓(表紙)

WRITER
丸山 けんおう(P2, 4~9)

※本誌に掲載している情報、日程、営業日、営業時間、料金などは予告なく変更される場合がございます。最新情報は各ページに記載されていますwebサイトをご覧ください。

SDGsへの
熱き想い

3月19日から27日まで、リビエラ逗子マリーナで開催した「リビエラSDGs 作品・マンガ大賞」展覧会会期中、私は連日数時間を費やし、椅子をずらしながら一作品一作品をじっくりと味わいました。子どもたちの作品は、まさに大人が教えられる教科書です。できることから始める。そのエネルギーに満ちた応募者たちは、一人ひとりが2030年以降の時代を担う素晴らしい人材です。

世界12カ国から三浦のリビエラシーボニアマリーナに集い、6年半かけて歴史的木造帆船「シナウラ」の完全レストアを成功させた50人の職人たちは、現在も温かな交流が続いています。

通称「シナウラサミット」。このサミットにより、世界のヨット事情や技術情報をアップデート。また、メンテナンスが一番のサステナビリティにつながる行動と考えるリビエラでは、艇の整備部門でも、シナウラで学んだ技術を縦横に駆使しています。

2年ぶりに再会した16歳からの付き合いのタイガー・ウッズ氏。一選手の器ではなく、ゴルフ界全体の未来を見据えて話すスケールの大きなタイガー・ウッズ氏との時間に心弾みました。

「ツアープロではどなたがプレーしやすいですか？」との問いに「間違いなく松山プロ。彼はどんな時でも自分のプレーに集中する。だから一緒に回っていて気持ちがいいんです」と。

翌日その話をシェアした松山プロは、静かに喜んでくれました。

2020年春には、都心からの

新たな挑戦をはじめます

アクセス至便な大人のマリーナリゾート・リビエラ逗子マリーナに「マリブホテル」をオープンし、ご好評をいただいています。長年切望してきた宿泊施設を営むという経験により、私たちは新たな気づきや発想を得ました。

肩ひじ張らずに滞在する「SPACE KEY POINT」に加え、ライフスタイルを提案するリビエラのショールームというべき「リビエラ初のレジデンス」では、オーシャンビューという絶好のロケーションに、住まうように長期滞在していただけるプロジェクトを進めているところです。本場欧州のマリンリゾート文化の真髄を味わっていただけるものになる事と存じます。

古き良きモノを大切に磨きあげながら、進化を続けるリビエラに、また新たな風が吹きます。

感動と共感に満ちた春。
そして新たな挑戦も。

株式会社リビエラ
渡邊 昇



2022 ジェネシス・インビテショナルのプロアマ 松山プロと



2022.2.13 ジェネシス・インビテショナル大会ホストのタイガー・ウッズ氏と



フィンランド共和国
駐日特命全権大使

ペッカ・オルパナ閣下

His Excellency Ambassador Pekka ORPANA

リビエラSDGsフェスでも伝えたかった 「“幸福”とは心配事がなく安心して暮らせること」

インタビュー：渡邊華子

欧州大陸最北に位置する森と湖の国。人口約550万人と小国ながら、1人あたりGDPは世界屈指。教育無償化をはじめとする各種の施策で機会均等・国民平等を実現し、「世界幸福度ランキングNo.1」「SDGs達成度ランキングNo.1」など、世界を大きくリードする国。そして、世界中の愛好家の憧れを集めるヨットメーカー「Nautor's Swan」を生んだ国——それがフィンランド共和国。ペッカ・オルパナ駐日フィンランド大使に話を聞きました。 ※このインタビューは、2022年2月25日に行われました。

Profile

Pekka ORPANA

ペッカ・オルパナ

1957年ヘルシンキ生まれ。ヘルシンキ大学で法学修士号取得。地裁判事を経て1982年フィンランド共和国外務省に入省。フランス、アルジェリア、英国、国際連合代表部、南アフリカの在外公館で勤務。中南東欧州課長、駐ベルギー大使、駐セルビア大使等を歴任。2018年9月より駐日特命全権大使。

大自然に抱かれた シテイボーイ

——フィンランドと私たちリビエラは、海事関連のご縁で結ばれています。リビエラは、貴国が生んだ世界的ヨットメーカー「Nautor's Swan」の日本総代理店。大使にもリビエラ逗子マリーナをご訪問いただきました。

また、弊社社長の渡邊との語らいの場を設けていただいています。オルパナ 渡邊会長とは、SDGsなどについて大変興味深い話し合いをしています。

妻と共に逗子をご案内いただいたのも、良き思い出です。私が日本に着任したのは2018年9月の

こと。公務で主要都市は回りましたが、新型コロナウイルスの流行もあって、これまでの任地ほど各地を訪れることができていません。細部まで手入れが行き届いたリビエラ逗子マリーナからは、美しい相模湾が広がり、富士山があんなにも大きく見える自然豊かな日本のリゾートを満喫しました。

——「大自然とともに心豊かに生きる」を企業理念に掲げるリビエラは、このインタビューストリーズで、皆様の幼少期からの自然体験をお尋ねしています。大使はどんな子ども時代を過ごされたのでしょうか？

オルパナ 私は、姉と弟の3人きょうだい。生まれも育ちも首都ヘルシ

ンキです。典型的なシテイボーイでした。でも、ヘルシンキは海辺の街で、自然へのアクセスはわりと容易です。自然環境はごく身近にありました。

また、夏になると、田舎で過ごすのがフィンランド人のライフスタイル。子どもの頃は、南西部の多島海域によく家族と行きました。フィンランド多島海域（サーリス トメリ）は「世界最多の多島海」です。何を「島」と定義するかで数は違ってくるのです



サーリストメリで家族と過ごした幼少期

が、おおむね4万1000以上の島が密集しています。そういう海域に、父と二人で小さなエンジンボートを積んだ釣り船や手漕ぎのボートで乗り出すのです。投網漁はやらなかったけれど、それ以外の釣りは全部やりました。

プロの漁師が使う漁具も使ったりして。大きな板に100個ほどのフックがついた道具もあった。もつとも、魚を釣るのは父。私はもっぱら船を操っていました。7歳の子どもが、海でボートを操船していたわけです。サーリストメリは、わが国が世界に誇る「とつておきの秘密」。魚も美味しい。

フィンランドには「自然享権」という権利があって、自然環境は「みんなのもの」。ルールを厳守し、自然環境にダメージを与えない限り、誰が所有する土地であっても、マナーをわきまえた上で自由に入っていくことが認め



コロナ禍でなかなか日本全国を回れない中、熊本で貴重な日本文化を体験

られています。夏の大自然を満喫した子ども時代。とても幸福でした。

日本のリゾートは残念ながら未体験

——素晴らしい幼少期の自然体験ですね！ コロナ禍での視察はなかなか難しかったと思いますが、日本の自然はいいか？

オルパナ 残念ながら訪れたのは主に都会ばかりで、日本の自然を味わうことは、ほとんどできていないのです。長野県の山岳地帯や熊本城には行きました。夏の北海道にも。北海道はフィンランドと気候風土が似ていて、懐かしい感じがしました。

——三浦半島の先端にあり、穏やかな小網代湾の中にあるリビエラシーボニアマリナーもぜひ。

湾の奥に広がる小網代の森は、谷沿いに小川が注ぎ、深い森から湿地、干潟、そして海までが一つの流域として連続する世界的にも貴重な「奇跡の森」。希少種を含む多くの生きものたちが、多様な生態系を形成しています。

地元では、周辺住民、行政、民間事業者などが手を携えて保全活動

機能美にこだわるフィンランド人

——フィンランドが生んだ世界的企業のひとつがNautor's Swan社です。フィンランドのみならず、Nautor's Swan社とは、どのような存在なのでしょう？

オルパナ 長大な海岸線と数多くの島を持つ地理的環境に加え、自然享受権がありますので、フィンランド人の多くにとって、マリンスライフは馴染み深い存在であると思います。現代は他にもさまざまなレジャーやスポーツがありますから



リビエラが独占輸入販売代理店を務めるNautor's Swan

に取り組み、現在は整備された散策路がある他は、道路も民家もありません。リビエラもかねてから保全活動に積極参加。2006年開始の「リビエラ未来づくりプロジェクト」でさらに加速させています。

オルパナ それは興味深い。東京から近いのですか？

——車でのアクセスが向上し、80分ほどで着きます。世界12か国から50人の職人を神奈川県三浦に招聘し、約6年半かけてリビエラが完全レストアに成功した、歴史的木造船「シナラ」のホームポートもこのマリナー。英国の「クラシックボートアワード2021」にて帆船レストア・オブ・ザ・イヤー（over 40 ft）を受賞した、究極にサステナブルな乗り物です。

オルパナ 海洋国家でありサステナビリティに重きをおくフィンランドとしては、「シナラ」をぜひ見たいですね。

マンデラの南アフリカで目撃したダイナミックな時代

——大使は、外交官として40年のキャリアをお持ちと伺っています。

昔ほどではないにせよ、セーリングをはじめとする海洋スポーツの人氣は今も大変根強いです。船造りにも長い伝統があって、船を愛好する人々にとっては、Nautor's Swan社の船は憧れの対象。自分たちの国が生んだ世界最高峰のプロダクトとして、誇りに思っているフィンランド人は多いでしょう。自動車であれば、英国人にとってのロールスロイスですね。

——それは、世界中の愛好家に共通する評価です。オルパナ Nautor's Swan社の船がこれほどまでに国民的に愛され



季節ごとにハイキングやトレッキング、オーロラなど、一年中大自然を楽しめるラップランド

多くの国を訪れた中で特に印象に残った国はどちらですか？

オルパナ どの国にもそれぞれの特色がありますから、甲乙をつけることはできませんが、交換留学生として高校生の頃過ごした米国カリフォルニア州は印象深いです。また、1997年から2001年に滞在した南アフリカ共和国での勤務は、感慨深いものがありました。

着任した当時、ネルソン・マンデラが大統領に就任して3年という時期でした。ひとつの国家がダイナミックに変わっていく様子を見

れ、誇らしく思われる理由は、品質と機能性を重視するフィンランド人の姿勢にあるといえるでしょう。華美に寄らず、機能美にこだわるプロダクトデザインが、フィンランド人の気質に合うのです。これは船だけでなく、工業製品全般に

「幸福度世界一」は教育投資から

——「リビエラ未来づくりプロジェクト」の一環として、未来を担う青少年に向けたリビエラの海洋教育プログラムでは、すでに6000人以上の子どもたちが体験しました。



大使館には立派なサウナ設備が。「フィンランド人にとってサウナは文化。幸福度の一部を構成する大切なライフスタイルです。その効能は「ととのう」だけではありません。サウナに入ること、みんながつながる。語り合える」まさに裸と裸の付き合いという点では日本の温泉と同じです。



インタビューが行われたのは、ロシアがウクライナに侵攻した翌日のこと。大使は青いシャツに黄色のネクタイで登場。「ウクライナの国旗の色をまとうことで、ウクライナへの支持を表したかったのです」

Naurio's Swan社を擁するフィンランドは、間違いなく海洋活動の先進国。海洋教育やマリンスポーツへの取り組みはいかがですか？
オルパナ 年齢や学歴に関係なく、誰もがわずかな料金で受講できる「市民教育センター」が自治体のサービスとしてあります。
 たとえば無数の島が密集しているサーリストメリの近辺では、セーリングやモーターボートについて学びたいという住民ニーズに応えるのは自治体の務め。だから、割安でコースを受講できる環境が整って

います。
 ——フィンランドが小学校から大学まで学費無償化を実現していることは有名ですが、プレジャーボートの操縦まで公共サービスで学べるとは……。
 さすがに「幸福度ナンバーワン」のお国柄ですね。
オルパナ フィンランドは、国連による「世界幸福度ランキング」で4年連続1位になっています（2022年3月に5年連続1位と発表）。
 この報告書は主観的幸福度を測るもので、グッドガバナンス（良い統治）、信頼、自由度や平等といった社会的要因によって各国のスコア（得点）を説明しようと試みています。人々がどういときに幸福を感じるかといえば、最終的には心配事がなく、安心して暮らせるときだと思えます。公共サービスのあるなしだけで幸福度は測れませんが、それがあることによって人々のウェルビーイングが増すことは確かです。
わずか550万人の人口ひとりひとりが“人財”
オルパナ 無償でインクルーシブ

な教育を行うことに対するポジティブなAttitude（態度）は、フィンランドの人口が550万人しかないというのが理由の一つです。私たちのウェルビーイングと競争力を維持するためには、男性も女性も老いても若きも一定以上の能力を身につけて、ひとりひとりが“人財”にならなければ。
 ——リビエライズムが浸透した“少数精鋭”でありたいと考えてきました。リビエラでも社員ひとりひとりの能力を高め、人間力を磨くことに最も力を注いでいます。
 転職のための職業訓練やリタイア後の生涯学習にも、積極的な公共投資が行われていると伺いました。

オルパナ リカレント教育は、職業人生における特定の時期や年齢だけに関わるのではなく、生涯いつでも受けられるものです。フィンランドでは、それが社会のコンセンサスになっています。
 国が教育に投資することへの反対意見はまったくありません。経済事情によって学ぶ機会を閉ざされることがあつてはならないので、学費は無償。どの街に住んでいても同レベルの公教育を

受けられるから、逆に私立学校はほとんどありません。
 ——親の所得差による教育格差が拡大している問題視されている日本社会にとって、示唆に富んだお話です。
平等であることが社会全体を強くする
オルパナ 教育と能力開発の機会均等を徹底してきたことが、国力に直結しています。国民全般のスキルが上がらなければ、通信機器大手「ノキア」のような企業も生まれなかったでしょう。
 教育投資はジェンダー平等も促しました。近年では大学進学希望者の半数強が女性。女性の大半が家庭の外で働いています。女性の企業経営者や管理職も増えてはいますが、まだ課題は残っています。

——現職のサンナ・マリン首相も、貴国では3人目の女性首相です。しかも、まだ36歳!! 素晴らしいことだと思います。
オルパナ そうですね、ただ大切なのは年齢や性別ではありません。リーダーとしての能力と資質が、その人にあるかどうかです。

すべての人が機会均等を保証され、多様性が受け入れられていることが、社会全体をイノベーターに押し、強くします。
 そのコストは社会全体で引き受けなければなりません。市民も企業も喜んで税金を納めています。なぜなら税金が有効活用されていることを確認でき、教育だけではなく他の社会福祉分野でも還元されていることを実感できるからです。
 企業にしてみれば、高い教育を受けた人が増えれば、即戦力人材の採用が容易になります。フィンランドの強みの一つは、企業と高等教育機関、そして研究所が協力し合うエコシステムが上手く機能していることです。

肝心のAttitude（態度）

——フィンランドは、国連とベルテルスマン財団が発表した2021年度のSDGs（持続可能な開発目標）達成度ランキングでも1位を獲得しています。
オルパナ SDGsは政府から企業、そして個人まで、すべての社会構成員が関わるもので、それぞれが役割を果たし、貢献することが

大事。SDGsを達成するうえで、企業の強力な支援は欠かせません。言葉だけでなく、具体的な行動が伴う必要があります。変化に対する前向きなAttitudeと意識がカギとなります。
 ——大使には、「リビエラSDGsフェス」でご登壇いただきました。講演で紹介いただいたフィンランドにおける各種の取り組みに、これからの活動のヒントを得た人も多かったと感じています。
オルパナ リビエラSDGsフェスへの参加や渡邊会長との対話を通して、リビエラがSDGsを達成するために、海洋プラスチックの回収や循環型農法でのゼロ・ウェイスト、CO₂削減に徹底した対策を取っていることを知り、素晴らしいことだと思いました。こうしたさまざまな活動において認められ、地域社会に共感の輪を広げているという印象を受けました。

営利事業と社会貢献は必ず両立できる

——リビエラにとってSDGsへの取り組みは、トレンドに乗って始めたことではありません。自然との共生も、古いものを大切にす

る磨き上げも、次の時代を託す人づくりも、2006年より愚直に継続してきたことですが、社会貢献である前に、本業に直結しています。むしろ、こうした取り組みなしに事業を持続することはできない。そう捉えています。
オルパナ 長期的には、SDGsを達成することができれば、世界がより安全に、より平等に、より良い場所になるという点で皆が恩恵を受けます。だからこそ、企業を含めた私たち全員は、直接的な利益がなくともそれらを追求すべきです。これは、国レベル、企業レベル、そして個人レベルで平等にいえることです。
 もちろん、企業がSDGs活動

をマーケティングツールとしても使い、商業利益の面でも意欲を高めることができれば、さらに良いといえるでしょう。顧客と消費者の環境意識と要求はますます高まっています。SDGsの推進は、皆にとってウィンウィンの関係なのです。
 ——自分たちが得たメリットを、社会全体の利益につなげていくということですね。
オルパナ リビエラのAttitudeには、それを感じることができました。
 ——心強いお言葉、ありがとうございます。私たちはこれからも、営利事業と社会貢献の両立をめざします。そのお手本は、貴国がお国全体で示してくださっています。



第3回リビエラSDGsフェスのトークセッションに登壇



リビエラグループ代表の渡邊昇と

Genesis Invitational



大会ホストのタイガー・ウッズと優勝選手、ホアキン・ニーマン



左:RCC社長 メーガン富士子・中:松山英樹選手・右:オーナー 渡邊昇



2年ぶりの有観客開催

The Genesis Invitational February 17-20, 2022

53年ぶりの快挙と 若手選手の台頭

フラッグシップである米国のリビエラカントリークラブ(RCC)を舞台とするPGAツアー「ジェネシス・インビテーションショナル」が今年も2月に開催されました。まだあどけなさが残る16歳のタイガー・ウッズがRCCでPGAツアーデビューを果たしてから、今年30年の節目の年です。大会ホストとしてリビエラに戻ってきたタイガー・ウッズは、昨年の怪我から奇跡的な回復とリハビリを重ね、想いの詰まったRCCの地に立てることを心から喜んでいました。有観客での開催は2年ぶり。表彰式にタイガー・ウッズが登場すると、ギャラリーのテンションが最高潮に。タイガーコースルが沸き起こりました。

かつてゴルフ界に残る人種差別と闘い、黒人初のPGAツアーのメンバーになったプロゴルファー、故チャーリー・シフォードの生誕100年の節目を祝う大会でもある今大会。この記念すべき大会で、ホアキン・ニーマン(チリ)は、1969年のチャリー・シフォード以来53年ぶりに、RCCで1日も首位を譲ることなく、伝説に残る完全優勝を果たしました。

「この4日が1ヶ月、永遠にも感じるほど長く、勝てたことが本当に嬉しい。RCCは、僕がプレーしたどのコースより難しい」

「ジェネシスは毎年ベストなコンディションでトッププレーヤーが集う、タフなトーナメント。RCCでは2017年のUSアマチュアでプレーしていたので、ティーショットからパターまですべて正しくプレーしないと良いスコアが出ないことは分かっていた」

(優勝者ホアキン・ニーマン談)
また、ジュニア育成プログラムが充実した昨今のゴルフ界では、若手の選手たちの台頭が著しく、今大会でも上位に食い込んだのは20代の選手たち。

「育った場所から30〜40分のRCCはUSアマチュアでもプレーし、最も好きなコースの一つ。最終日はチップインも2回あって、優勝は逃したもののビッグスコアが出てとても嬉しい」

(2位コリン・モリカワ談)
今後の活躍が非常に楽しみです。

リビエラの保険

Riviera Life Support

リビエラライフサポート

マリーナ運営の経験を活かし充実した毎日をサポートする
 一人一人に合わせた保険プランを
 ご提案します

リビエラのヨット・モーターボート総合保険

経験に基づく安心

ライフデザインを大切に考えるリビエラだからこそ、
 安心・充実した保険内容をご提案いたします

各種特約や割引

リビエラのお客様ならではの特約・割引を
 ご用意しております

補償内容の充実

手厚いサポートが魅力です。詳細はHPをご確認ください



ヨット・モーターボート総合保険は
 マリン業界において長年の経験と実績のある
 私にお任せください
 お客様に最適なご提案をいたします
 マネージングディレクター 新通 弘二

- ヨット・モーターボート総合保険
 - 賠償責任保険
 - 火災保険
 - 傷害保険
 - 旅行保険
- 企業向け各種保険 and more

取扱保険会社

東京海上日動火災保険

東京海上日動あんしん生命

あいおいニッセイ同和損保

取扱商品、各保険の名称や補償内容は引受保険会社によって異なりますので、ご契約にあたっては、必ず「重要事項説明書」や各保険のパンフレット等をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、リビエラライフサポートまでお問い合わせください。

リビエラライフサポート 0120-535-536 <https://www.riviera.co.jp/hoken/>

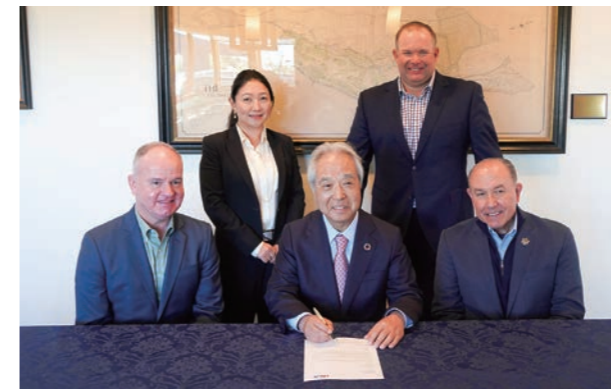


2026年 RCC100周年

約100年の歴史あるゴルフクラブは、コースの設計自体を全く新しいデザインに変えてリニューアルを行うケースが多いです。
 しかし、2026年に100周年を迎えるリビエラでは、1988年にRCCを取得して以来34年、古き良きモノ、オリジナルにこだわり、あえて1926年開業当時のコース設計に戻してきました。
 それでも、プロに「全米で最も難しいコース」と評価されるRCC。そう評価をいただく裏には、最新技術を導入したグリーンメンテナンスを行い、コースを磨きに磨き努力を重ねています。
 リビエラの理念「古き良きモノを磨き上げ次の世代へ」がRCCでも根幹にありサステナビリティを最も大切にしています。

全米女子オープン開催

そしてこの度、RCCに新たな風が吹きます。それは、「全米女子オープン」の開催。男子大会で常連のコースで女子ゴルフのトーナメントは開催されない風潮があり、女



「全米女子オープン開催 調印式」USGA大会組織委員長John Bodenhamer氏と

子大会会場にRCCが選ばれたことは男女機会均等としても大きな改革です。2006年に「リビエラ未来づくりプロジェクト」を立ち上げ、ジェンダー平等を含む様々なSDGs活動に力を注ぎ取り組んできたリビエラでは、女性も男性同様に活躍する企業文化が根付いています。だからこそ、100周年という記念の年にこの意義深く栄誉ある大会を開催できることは大きな喜びです。「全米女子オープン」は、世界中の少女ゴルフアーたちが夢を抱き、憧れを抱く場であればならない」とUSGAのCEOであるワン氏が

述べられたように、この変革により、スポーツ競技全体、そして世界的にもあらゆる面で、男女共に機会均等が保証された社会へと進むきっかけになりたいと願っています。

2028年ロス五輪 ゴルフ競技開催決定

2028年ロス五輪招致時から、RCCは男女ゴルフ競技会場に内定していました。

ゴルフ競技は長らく五輪競技から除外（東京2020が4回目のゴルフ競技実施）されていましたが、去る2月3日のIOC総会で2028年のゴルフ競技開催が正式に発表されました。RCCにとって五輪は、1932年ロス五輪で「バロン西」こと日本の西竹一選手が金メダルを獲得した、馬術競技以来96年ぶりの大舞台です。RCCのエクステンジプログラム



熱き戦いを支えるコースメンテナンスのスタッフたちと

で世界水準のコースメンテナンスを学んだ、霞が関カンツリー倶楽部のグリーンキーパーたちが活躍した東京五輪。次はRCCがその真骨頂を見せる番です。東京五輪セーリング競技運営で培った経験も活かし、フラッグシップのRCCでは、2028年ロス五輪の成功に向けて取り組んでいます。



三方を海に囲まれた「シースケイプ」には、開場前から長蛇の列ができ、急遽席を追加。150名の参加者・登壇者、皆がパワーをもらい合い大盛況でした。

さまざまな角度から海を語るトークセッション

リビエラ逗子マリナーナの中でも海に一番近い特別な会場「シースケイプ」では、「環境問題」はもちろん、「ジェンダー」「地元の取り組み」「海を越え世界と繋がるスポーツ」「海の魅力・ヨット文化」など、LOVE OCEANをテーマに、さまざまな角度から海に想いを馳せたトークセッションを開催。白石康次郎氏や三浦豪太氏、廣瀬俊朗氏、西内ひろ氏をアンバサダーに迎え、女性漁師や海洋研究開発機構、セーラー、地元スーパー、漁業組合長らが登壇されました。



逗子海岸(逗子)

海に思いを馳せて海で過ごす1日

LOVE OCEAN

リビエラ湘南ビーチクリーン

第4回リビエラSDGsフェス in リビエラ逗子マリナーナ

2021年12/5(日)

鎌倉・逗子・葉山 湘南一帯ビーチクリーン

気候変動を肌で感じ、環境保全活動を始めたリビエラは、2006年より「リビエラ未来づくりプロジェクト」を立ち上げました。そして、サステナブルムーブメントを願い2021年1月に開始したリビエラSDGsフェス。世界ボランティアアデーの12月5日、「海に想いを馳せる日」として地域住民と共に活動しました。

有志社員が毎月行っている



上: 由比ガ浜海岸(鎌倉) 下: 森戸海岸(葉山)

「リビエラビーチクリーン」を湘南一帯で実施しようという声かけに、鎌倉市長、逗子市長、葉山町長からの賛同をいただき実現しました。当日は、各首長、アンバサダー、海岸・漁業関係者、地域住民など延べ900名が参加。海は一見綺麗に見えますが、砂の中にはマイクロプラスチックがたくさんあります。海でビーチクリーンをすることはとても気持ちが良い、環境意識の高い地元湘南の方々と、心をひとつにすることができました。



【環境】
西内ひろ氏(モデル・女優)
磯部 紀之氏(国立研究開発法人 海洋研究開発機構/JAMSTEC)
白石 康次郎氏(海洋冒険家)



【ジェンダー】
前田 桃子氏(桃丸)・奥田 有子氏(新丸): 鎌倉漁業組合
小西 弘子氏(弘丸)・賀来 綾(愛丸): 小坪漁業組合
畠山 晶氏(桜花丸): 葉山漁業組合

参加者は終了後も興奮冷めやらぬ状態で、席を立つことなく余韻を楽しむほど感動されていました。

立場は違えど、海を愛する熱い思いは同じ。海離れが進んだ子どもたちにも、もっと海のことを知ってもらい、みんなの力で海の豊かさを守りたいと願っています。



【海の魅力/海の文化、ヨット文化】
浪川 宏氏(逗子マリナーナヨットクラブ副会長)
中村 隆夫氏(公益財団法人 日本セーリング連盟副会長)
白石 康次郎氏(海洋冒険家)・日本海洋アカデミー



【海を越え世界と繋がるスポーツ】
廣瀬 俊朗氏(元ラグビー日本代表主将)
白石 康次郎氏(海洋冒険家)
三浦 豪太氏(プロスキーヤー)



【地元の新しい取り組み】
大竹 清司氏(小坪漁業協同組合 組合長)
中村 洋子氏(株式会社スズキヤ 代表取締役会長)

- 【主催】リビエラSDGsアクション実行委員会
- 【共催】株式会社リビエラリゾート、株式会社リビエラ東京、一般社団法人日本海洋アカデミー、NPO法人リビエラ未来創りプロジェクト
- 【協賛】アサヒビール株式会社
- 【協力】NPO法人葉山ライフセービングクラブ、鎌倉市海浜組合連合会、NPO 海岸クラブ、湘南ビーチFM
- 【後援】神奈川県、逗子市、鎌倉市、葉山町、公益財団法人かながわ海岸美化財団



ワークショップで 気軽にSDGs体験

ウェットスーツの製造時に出るハギレで作られた雑貨の販売店では、オリジナルの人物作りを体験したり、レストランのキッチンから届いたゴミになるはずの貝殻に絵を描いたり、ロスフラワーや廃キャンドルで小物を作るワークショップも開催。みなさまにSDGsを身近に感じながらお楽しみいただきました。



女性漁師による朝市と 限定復活のリビエラマルシェ

葉山・逗子・鎌倉の女性漁師さんが朝市で販売したのは、自ら当日朝に水揚げしたばかりの水産物。そして、限定復活したリビエラ逗子マリナーナのレストランで出た野菜くずを一時処理し、堆肥として使用し栽培した「リビエラ循環野菜」の他、有機・無農薬栽培野菜を地元農家の方々が販売。リビエラ逗子マリナーナ 理長 伊藤の炊き込みご飯「さざえ飯」はあつという間に完売し、地元湘南では誰もが知る高級スーパー「スズキヤ」の出店も大変喜ばれました。

コロナで休止していたリビエラマルシェを限定復活。毎月開催のリビエラマルシェは5月から復活します。鮮度抜群の地産の食材をお楽しみください。

RIVIERA Staff's Voice
**マリライフを楽しむすべての人へ
 磨き続けるスキルと人間力**

真っ黒に日焼けした肌が印象的なリビエラ3マリーナの顔
 ハーバーマスター、SWAN58のキャプテン、プライベート、全ての経験は
 マリライフを愛するお客様に喜んでいただくために

**全力で楽しむプライベートの時間と
 忘れられないお客様の喜ぶ顔**

「故郷である北海道小樽の高校ヨット部では、国体やインターハイに出場しました。マリ業界を目指し、遠く離れた広島で海を極めると共に必要なスキルを学び、また東洋一のマリーナと言われるシーボニアのインターンシップに参加。ヨットの魅力に惹かれた私は、レースで活躍する艇が多くあるこのマリーナにそのまま入社しました。それからもう24年、あっという間です。」

リビエラ逗子マリーナのハーバーマスターであり、リビエラシーボニアマリーナと葉山港(神奈川県指定管理)を含めた3拠点の統括も担当谷川良太。

幼少期から活発だった谷川は2人の父親でもあります。「家族と過ごす時間は私にとってかけがえのない時間で、長期休暇にはセーリングをしたり、子どもからの誘いで横須賀の大楠山にほとんど駆け足で登ることもよくあります。良い場所はお客様へ提案したいので、家族との時間であっても、つつい仕事目線で厳しくチェックしてしまいます。おすすめした場所をお客様に気に入っていただけると嬉しいです」

**江の島艇167艇・運営艇27艇受け入れ
 感謝と自信と誇りに満ちた東京五輪**

昨年は半世紀ぶりの祭典・東京五輪を経験しました。「東京五輪ではリビエラが運営する3マリーナで、江の島の艇を167艇、運営艇を27艇受け入れました。また、マリーナの最大の繁忙期である夏ではありましたが、大会期間中はリビエラ所有の3艇を運営艇として貸し出し、スタッフは6名派遣しました。大会運営に従事したスタッフはもちろんのこと、少なくなった人数で繁忙の夏のマリーナ運営をやり抜いたスタッフたちも、一人一人の対応力が向上し成長する機会となりました。今まで培ってきた経験を活かし東京五輪に貢献できたことは大変喜ばしく、また現在の業務にもつながっています。これもリビエラのメンバー様のご理解のお陰です。本当に感謝しています」

Presenter
 リビエラリゾート
 3マリーナ統括
谷川 良太



**3マリーナ統括としての責任と
 磨き上げる人間力**

現在は名艇SWAN58のキャプテンも務めています。「SWANはセーラーであれば誰もが憧れる世界最高峰のヨットで、リビエラが独占販売代理店を務めています。中でもSWAN58はまだアジアに唯一。そのキャプテンを務められることは大変栄誉なことであると同時に、責任の重さも感じています。先に結成されたCYNARAチームと共に週に一度のトレーニングを実施しています。技術面の向上は大事な目的の一つですが、普段は違う場所で業務を担っているクルーたちとのコミュニケーションは、トレーニング以上の



成果があります。また、まったく上の視座をもつ会長の渡邊との対話では一人一人が鍛えられ、モノの見方が明らかに変わってきていることを肌で感じられる、人磨きの場でもあります。3マリーナ統括という立場から、何事も自分事として捉えることで自らの行動も変わってきます。スタッフ一人一人の活躍にスポットライトが当たる職場にしていきたいことが、マネージャーである私の最大の務めだと考えています。そして、リビエラグループのメンバー様だけでなく、相模湾でマリライフを送るすべての方が安心して過ごせる環境を整えていきたいです」



未来のために
 サステナブルムーブメントの裾野を広げる

**リビエラSDGs
 作品・マンガ大賞
 展覧会 3/19(土)～27(日)
 授賞式 3/27(日)**

**サステナブル
 ムーブメントを願う**

リビエラがハブとなって人と人をつなぐ「リビエラSDGsフェス」には高い評価をいただく一方、熱い想いを持続する難しさも感じています。そこで、SDGsをもっと身近に感じサステナブルムーブメントの裾野を広げるために「リビエラSDGs作品・マンガ大賞」の公募を実施。2回目となる今回は、小中学生を中心に幅広い層から400を超える応募がありました。

**子どもから大人が教わる
 未来への豊かな熱い想い**

社会課題として重要な国際デーが多い春休みに「リビエラSDGs作品・マンガ大賞」展覧会をリビエラ逗子マリーナで開催。SDGsに関心の高い経営者、会社員、教員、自治体職員、環境団体、ユニesco・WWF関係者や親子連れなど多くの方がご来場し、子どもたちの素晴らしい発信をじっくりと鑑賞されました。

**知事はじめ各首長自ら
 表彰し内容を讀んだ授賞式**

展覧会最終日の3月27日には授賞式を開催。神奈川県黒岩知事をはじめ、豊島区、逗子市、葉山町、鎌倉市の各首長や教育長、アサヒ飲料様にプレゼンターを務めていただき、ノルウェー賞を含む全15賞を授与しました。デジタル行政改革規制改革担当大臣の牧島かれん氏、環境大臣や気候変動担当大臣を歴任してきた小泉進次郎氏にも激励のビデオメッセージをいただき、未来を担う子どもたちへの期待の高さを感じることができました。



**ワークショップで
 気軽にSDGsを体験**

ビーチクリーンやリビエラツアー(バックヤードECO探検)の他、新聞バッグ作りや海ゴミセミナー、国際理解を深めるエンタメ、笑顔トレーニングなどのワークショップを開催し、SDGsを体験していただきました。



3/20 NHK「おはようニッポン」で紹介されました

- [主催] リビエラSDGsアクション実行委員会
- [共催] 株式会社リビエラリゾート、株式会社リビエラ東京、NPO法人リビエラ未来創りプロジェクト
- [特別協賛] アサヒビール株式会社、株式会社アディスミュージズ、三菱鉛筆株式会社
- [協賛] 横浜トヨペット株式会社
- [後援] 神奈川県、豊島区、逗子市、鎌倉市、葉山町、神奈川県教育委員会、豊島区教育委員会、逗子市教育委員会、鎌倉市教育委員会、葉山町教育委員会、ノルウェー大使館

受賞作品はこちら→



森のバーベキューテラス



東京池袋駅からほど近い都会にありながら、時間を忘れて自然を感じられる「リビエラ東京」。緑に囲まれた庭を贅沢に使ったBBQイベントを2日限定で開催します。滝の水音や鳥のさえずりをBGMに、ご家族やお仲間とお楽しみください。

【場 所】リビエラ東京(西池袋・立教大学前)
 【日 程】4/22(金)ディナー 受付/17:30 開宴/18:00
 5/1(日)ランチ 受付/11:30 開宴/12:00
 【金 額】料理/
 大人 7,260円(税・サービス料込)
 子供(4歳~小学生) 2,420円(税・サービス料込)
 ドリンク/
 アルコール込みフリー 2,420円(税・サービス料込)
 ソフトドリンクフリー 1,210円(税・サービス料込)
 単品ドリンクも各種ご用意しています

ご予約・お問合せ

リビエラ東京
 イベントデスク
 TEL.03-3981-3233



北陸フェア(4-5月)・熊本フェア(6-7月)



4・5月は海の幸にも山の幸にも恵まれた北陸の、豊富な魚介類をご堪能いただけます。6・7月は昨年、地震や豪雨被害からの復興活動応援の気持ちを込めて開催した熊本フェアが、さらに進化を遂げて帰ってきます。

【場 所】茶寮リビエラの庭(西池袋・立教大学前)
 【日 程】北陸フェア 4/1(金)~5/30(月)
 熊本フェア 6/2(木)~7/31(日)
 【営業時間】ラン チ/11:30~15:00(14:00 L.O.)
 ディナー/17:00~21:00(20:00 L.O.)
 定休日:火曜日(祝日は営業)
 【金 額】ラン チ/3,520円(税込)~
 ディナー/5,500円(税込・サービス料別)~
 個室料/3,300円(税込)~
 ※写真はイメージです

ご予約・お問合せ

茶寮リビエラの庭
 TEL.03-3981-3264



初夏の旬づくし



リビエラ逗子マリーナの中でも、目の前に広がる相模湾・江の島・富士山の景色を一番楽しめるレストランテAO。1年の内2週間しか食べられない、初夏の旬を味わう特別コースをご用意します。絶景を眺めながら、ゆっくりとご堪能ください。

【場 所】レストランテAO 逗子マリーナ
 【日 程】6/4(土)~6/19(日)
 【時 間】ラン チ/11:30~15:30(14:00 L.O.)
 ディナー/17:00~21:00(19:30 L.O.)
 定休日:火曜日(祝日は営業)
 【金 額】ラン チ/10,500円(税込・サービス料別)
 ディナー/12,000円(税込・サービス料別)

ご予約・お問合せ

レストランテAO
 逗子マリーナ
 TEL.0467-25-0480



大人のホワイトパーティー with 焚き火 ~シーボニアのプールサイドに白い世界を~



リビエラ逗子マリーナで人気の企画「大人のシリーズ」をリビエラシーボニアマリーナで初開催！白のドレスコードでプールサイドに集い、小網代湾の穏やかな海とサンセットを眺めながら、ソウルフルな音楽をお楽しみください。愛犬同伴OK。

【場 所】リビエラシーボニアマリーナ
 【日 程】4/30(土)
 【時 間】17:00~20:00
 【金 額】テーブルチャージ/5,000円~32,000円(詳細はHP参照)
 ミュージックチャージ(Food付)/10,000円(税込)
 ドリンク/当日ハイオーダー
 【ドレスコード】オールホワイト 愛犬同伴OK
 【チケット販売】オンライン決済のみ(右記QRコードより)

販売・お問合せ

リビエラ
 ライフデザイン倶楽部



SALON CONCERT CLASSICA BY THE SEA 「喝采再び~コハーンの熱き名人芸」



コンサートホールでは味わえない、海を見ながらの贅沢な空間で、上質なクラシック音楽をお楽しみいただけます。
 出演:コハーン・イシュトヴァーン(クラリネット)・新倉瞳(チェロ)・嘉屋翔太(ピアノ)

【場 所】リビエラ逗子マリーナ
 【日 程】6/18(土)
 【時 間】開場/16:00 開演/17:00
 アフターコンサートディナー/19:00
 【金 額】コンサート/7,800円(税込)
 (グラスシャンパン付き・全席指定)
 アフターディナー「CLASSICA SPECIAL COURSE」
 /9,680円(税・サービス料込)

販売・お問合せ

【コンサート】
 湘南ビーチFM
 TEL.046-870-3313

【ディナー】
 リビエラ逗子マリーナ
 イベントデスク
 TEL.0467-23-0028



SHONAN JAZZ BY THE SEA ~毎月開催!リビエラ逗子マリーナのジャズライブ~



水平線が広がる海にサンセットを眺める絶好のロケーションで、毎月1回土曜日夜に大人が集うジャズ。日本を代表するジャズアーティストが出演し、ライブハウスの様にアーティストとの距離が近い、臨場感溢れるライブをお楽しみいただけます。

5/7(土) 寺井尚子カルテット 6,500円(税込)
 6/4(土) Dennis Lambert Latin Jazz Group 5,500円(税込)
 7/2(土) 大西順子カルテット 6,500円(税込)
 【場 所】リビエラ逗子マリーナ
 【時 間】開場/17:00 開演/18:00
 ジャズ参加者限定サンセットカクテルディナー好評受付中
 【場 所】マリブファーム 逗子マリーナ
 【時 間】16:30~ 【金 額】6,600円(税・サービス料込)
 【要予約】3日前の16:00までTELにて受付

販売・お問合せ

【ライブ】
 湘南ビーチFM
 TEL.046-870-3313

【ディナー】
 マリブファーム
 逗子マリーナ
 TEL.0467-23-0087



リビエラマルシェ



コロナ禍でしばらく休止していた「リビエラマルシェ」を5月から再開します。三浦野菜や地元漁師が当日朝に水揚げした魚介を、生産者から直接購入できるマルシェです。潮風を感じながらお楽しみください。

【場 所】リビエラ逗子マリーナ
 【日 程】5/1(日)・6/5(日)・7/3(日)
 【時 間】10:00~15:00
 出店をご希望の方のお問い合わせはこちら
 ※趣旨・状況を鑑みて審査を行い、出店可否のご連絡をします。

お問合せ

リビエラ逗子マリーナ
 イベントデスク
 TEL.0467-23-0028



人力車でトリップステイ



ホテルのエントランスから風情溢れる人力車に乗り、鎌倉を知り尽くした俣夫の案内で、知る人ぞ知る名所を巡ります。6月のオスメは色鮮やかに咲き誇る鎌倉の紫陽花。密を避け、潮風や潮の香りを感じながらゆったりとお楽しみください。

【場 所】マリブホテル
 【日 程】通年
 【金 額】宿泊部屋・日程により変動

要予約・お問合せ

マリブホテル
 TEL.0467-23-0077



旬を味わい、地産の新鮮食材を楽しむ

富士山を望む全席オーシャンビューの
モダンイタリアン



Ristorante AO

リストランテAO 逗子マリーナ



神奈川県逗子市小坪5-23-16 リビエラ逗子マリーナ内
TEL.0467-25-0480 *定休日はHPにてご確認ください
ランチ/11:30~15:30(14:00L.O.) デイナー/17:00~21:00(19:30L.O.)

